

## VI 研修科目概要

### 1. 家庭介護者等養成研修(呼称：ハートフルケアセミナー)

★2026年度新規科目

研修科目コード	研修形態	科目名	時間数 定員	概要	条件	係員 派遣
1101	講義	家庭介護を担う人の心構え	2時間 定員40名	家庭で高齢者介護を進める際の心構えや介護サービス(介護に関わる専門家)の概要、ストレスをためない重要性を学ぶ。		
1102	講義	高齢者のための健康管理	2時間 定員40名	高齢者の健康管理を目的に、高齢者に多い疾患と感染症、皮膚トラブル等、予防・ケアのポイントを学ぶ。		
1103	講義	認知症の方の基礎理解とケア	2時間 定員40名	認知症の原因疾患、代表的な中核症状、行動・心理症状を理解しながら、認知症の方とのコミュニケーションの基本を学ぶ。		
1104	講義	高齢者のための介護予防入門	2時間 定員40名	介護予防が必要になった背景から国の方針、要介護の原因について理解を深め、サロンの活用や地域づくり等が住み慣れた地域での元気な暮らしへ繋がることなど、介護予防の基本について、身近にできるエクササイズやストレッチングと共に学ぶ。	金曜日の実施は不可	
1105	講義	家庭介護におけるトラブルと応急手当の基礎知識	2時間 定員40名	高齢者が家庭で巻き込まれるトラブル(窒息、誤嚥、転倒、火傷、熱中症等)と応急手当の基礎、救急外来への受診の目安や救急車手配の注意点などを学ぶ。		
1106	講義	(県薬剤師会連携) 高齢者が薬・健康食品と上手につきあうために	2時間 定員40名	薬や健康食品の基礎知識(特徴や危険性など)を学び、薬や健康食品と上手に(安全に、効率よく)付き合う方法を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月以降開講</li> <li>・13時半もしくは14時開始</li> <li>・候補日のうち水曜日または木曜日を1日は含む</li> </ul>	有

研修科目 コード	研修形態	科目名	時間数 定員	概要	条件	係員 派遣
1107	講義	高齢者の健康寿命を延ばす食生活	2時間 定員40名	高齢者に必要な栄養素・栄養量のほか、口から食べることの意義、低栄養状態のリスクや生活習慣病等について食生活の面から理解を深め、その予防について学ぶ。		
1109	講義	家庭で使える福祉用具	2時間 定員40名	高齢者などの要介護者に必要な福祉用具の紹介と、福祉用具の選び方、メンテナンスのほか、レンタルできる福祉用具とその利用にかかわる仕組みについて学ぶ。		
1110	講義	高齢者施設の選び方 ～どこで最期を迎えるか～	2時間 定員40名	望む場所で最期を迎えるにあたって、在宅か病院か高齢者施設か…現在の状況や、それぞれの特徴など理解を深めるとともに、ご自身やご家族の状況に応じた選定の注意点や、高齢者施設選びのポイントを学ぶ。		
1111	講義	高齢者のための依存症の理解と支援	2時間 定員40名	アルコール、ギャンブル、タバコ、スマホ、買い物など…身近に潜んでいる依存症の種類や、そのメカニズムを学ぶとともに症状や生活への影響について理解を深め、予防方法や依存症の方への適切な対応・接し方を学ぶ。	水曜日実施	
1112	講義	超入門ー知っておきたい福祉用語について ～福祉用語の学びを通して、 福祉について理解しよう～	2時間 定員40名	福祉で使われる基本用語から介護保険制度の利用において使われる福祉用語など学び、福祉についての理解を深め、これからの福祉との関わりについて考える。		
1113	講義	家庭介護を担う人のためのメンタルヘルス	2時間 定員40名	家庭介護におけるストレスに対するメンタルヘルスについて学びながら、心の健康を保つためのセルフケアの方法を学ぶ。	水曜日実施	
★1114	講義	家庭における看取りの理解	2時間 定員40名	家庭において家族として看取りを行なう際にどのような準備が必要かを学ぶ。ご本人の肉体や精神的な苦痛を理解し、穏やかに尊厳のある死を迎えられるためのサポートや心構えを理解する。		

研修科目 コード	研修形態	科目名	時間数 定員	概要	条件	係員 派遣
1201	演習	口腔機能向上～健康寿命を延ばす口腔ケア～	2時間 定員40名	歯周病による合併症(脳卒中、心疾患、糖尿病、誤嚥性肺炎など)を予防するために重要な口腔機能向上の方法や口腔ケアの基本を学ぶ。	給排水設備が近くにある講義室	有
1202	演習	バイタルサインを高齢者の体調管理に生かす	2時間 定員40名	健康的な生活を継続するための目安として、体温、血圧、脈拍、呼吸(バイタルサイン)の標準値や正しい測定方法、生活習慣病予防のポイント等を学ぶ(体温測定、血圧測定の測定体験あり)。		有
1203	演習	家庭でできる脳生き生きトレーニング ～認知症予防に向けて～	2時間 定員40名	言語聴覚士の指導のもと、認知症予防を目的とした脳の活性化や機能維持のためのトレーニング方法(歌唱や手の運動等と組み合わせた認知トレーニング)を体験するとともに、脳機能の作用やメカニズムへの理解を深め、認知症予防を学ぶ。	・水曜日、14時以降実施	
1204	演習	家庭介護に必要な介護技術入門① ～体位変換と移乗の介助～	2時間 定員20名	体の動きをふまえ、ベッド上での体位変換やベッドからの移乗介助について体験レベルの演習を通じて理解する。	・広めの講義室 ・ベッド	有
1205	演習	家庭介護に必要な介護技術入門② ～車椅子介助の基本～	2時間 定員20名	高齢者の日常の生活のしづらさを学び、車椅子の取扱方法や介助の基本を体験レベルの演習を通じて理解する。	・車椅子 ・広めの講義室 ・屋内外のスロープおよび段差	有
1206	演習	家庭介護に必要な介護技術入門③ ～排泄介助の基本:トイレへの移動 ・ポータブルトイレの利用～	2時間 定員20名	排泄の仕組みをふまえ、ベッドや車椅子からのトイレへの移乗介助の基本を体験レベルの演習を通じて理解する。	・広めの講義室 ・ベッド ・車椅子 ・ポータブルトイレ	有
1207	演習	家庭介護に必要な介護技術入門④ ～食事介助～	2時間 定員20名	嚥下の仕組みをふまえ、食事の介助方法や食事の形状、経口摂取の工夫について、体験レベルの演習を通じて理解する。		有

研修科目 コード	研修形態	科目名	時間数 定員	概要	条件	係員 派遣
1208	演習	家庭介護に必要な介護技術入門⑤ ～衣服の着脱・清拭の介助～	2時間 定員20名	衣服の着脱介助と、清拭の実施方法等について体験レベルの演習を通じて理解する。	広めの講義室	有
1209	演習	知っておきたい高齢者の排泄トラブル ～排泄トラブルの原因と対応～	2時間 定員20名	排泄トラブルはご本人にとってとても重要な問題であるが、まわりの方に相談しにくい問題である。排泄トラブルの原因を理解し、適切なおむつの選び方、使い方を学ぶと共に、福祉用具の活用方法についても学ぶ。	・広めの講義室 ・ベッド	有
1213	演習	家族介護を担う人のためのリフレッシュ講座 ～心と体をスッキリ！～	2時間 定員40名	介護ストレスを抱えがちな家庭介護者が心身ともにリフレッシュするためのレクリエーション(軽運動含む)のいくつかを体験する。	広めの講義室	
1214	演習	(県柔道整復師会連携) 転ばないための身体づくりと 転んでしまった後の運動と対処法について	2時間 定員40名	体や動作のしくみから、転倒や骨折の原因から応急処置の方法を学ぶ。そして、転倒予防のための運動や転倒などで体が弱ってしまった後に、家庭で介護者が負担なく提供できる機能回復運動などを学ぶ。	・原則(13時～16時)の間に実施 ・広めの講義室	
1215	演習	超高齢社会における住民の主體的地域活動の 必要性と心構え	2時間 定員40名	お互いに支えあうことのできる社会を目指して、一人ひとりの住民が主体的に地域に関わることの意味・目的を学ぶ。		
1216	演習	超高齢社会の地域活動に生かすレクリエーション ～仲間を繋ぐ仕掛けのあれこれ～	2時間 定員40名	地域でのグループワークやサロン活動などで活用できるレクリエーションのいくつかを体験レベルの演習を通じて学ぶ。	・6月開講 ・広めの講義室	
1217	演習	「難聴」の理解 ～耳が聞こえないってどういうこと～	2時間 定員40名	難聴のメカニズムをはじめ種類や特徴を学び、難聴の方の聞こえの状態の体験や、補聴器の聞こえを体験しながら難聴への理解を深めると共に、補聴器の取り扱い方法などを学ぶ。	・4月～9月は木曜日14時以降 ・10月～3月は水曜日14時以	